

労働慣行と人権方針

2022年9月30日

Version 2.0

SDPI 作成方針

三好化成グループは、事業活動を行うすべての国の法律、規制、基準を遵守します。

本方針は、私たちの従業員が互いに尊重しつつ倫理的な職場環境で働く権利を保証することを目的としており、すべての従業員に適用されます。

1. ダイバーシティ&インクルージョン

三好化成グループは、平等な機会、多様な労働力、全ての人が尊重される職場を目指しています。

三好化成グループは以下コミットします。

- すべての従業員と就職志願者が公平に処遇されることを保証し、宗教、肌の色、出自、性別、性的指向、障害、年齢、出身民族、社会的地位、または政治的意見などを理由として差別をしません。

ジェンダーの不平等をなくすとともに、女性の活躍推進を目指します。

- 2025年までに全ての管理職にダイバーシティ&インクルージョンに関する研修を実施します。
- 脅迫や強制を含む、あらゆる種類の肉体的、心理的または言葉によるセクハラ・パワハラなどの不正行為を禁止します。

2023年には全ての従業員にハラスメント・差別の研修を実施し、また2024年までに全ての従業員にそれに関連する報告の手順について研修を行います。

- 2023年までに内部通報制度を整備しハラスメント・差別行為に対する措置を構築します。

内部通報者を不利益から守るため、外部弁護士への相談窓口を設け、迅速かつ公正な内部通報に対処する制度を構築します。

全ての内部通報を調査し、改善措置を講じることとします。

2. 児童労働・強制労働

三好化成にとって、人権は何よりも重要です。私たちの目標は、グローバルな事業活動とサプライチェーンの中で、人権が尊重されるようにすることです。より具体的には、私たちは、潜在的なリスクを特定し、防止し、緩和するために、このテーマに関するデュー・デリジェンス・プログラムを実行します。2024年に私たちの事業に関係する主要原材料のサプライチェーンに関してデュー・デリジェンス・プログラムを実施することを目指しています。

3. 労働条件

三好化成グループは、以下コミットします：

- 最低賃金、残業時間等を含む賃金や勤務時間に関するすべての法律を遵守します。従業員は成果に応じて公正に評価され、定期的にかつ滞りなく報酬が支払われます。
- 従業員の団結権、および従業員が代表者を選出する権利などについて、その地域毎の法律を遵守します。代表者は、差別や報復を恐れることなく、職場の課題解決にむけて意見を共有することができます。

労働条件については、2023年までに全事業所に従業員と経営トップとの労使対話の環境を設けることを目標としています。

4. 安全衛生

三好化成グループは、従業員一人ひとりが安全で健康的な職場環境を提供することを目指しています。全ての事業所においてあらゆるリスクを評価・管理し、危険を最小限に抑え、従業員に安全性を意識した行動を奨励することで、すべての従業員に対し安全で健康的な職場環境の提供に努めます。

三好化成グループの安全衛生に関する目標：

- 2024年までに全ての事業所で安全衛生リスクアセスメントを実施します。
- 前年度のリスクアセスメントの75%以上の改善を実施します。
- 0労働災害を目指します。

5. キャリアマネジメント・研修

三好化成グループでは、従業員トレーニングプログラムを通して、従業員の才能、スキルの向上を図り、問題解決と労働慣行の改善に積極的に取り組みます。

三好化成グループのキャリアマネジメント・研修に関する目標：

- 年間労働時間の1%を研修時間に確保します。
- 毎年、全ての従業員が業績評価を受けます。

人事管理者、安全衛生管理者、またはこれらに関連する担当者は、この方針を理解し遵守する責任があります。

この方針は、毎年または必要に応じて見直されます。

